



やはた

The Salvation Army YAHATA Corps



八幡小隊に関わりのある皆様

「あなたにゆだねられている良いものを、わたしたちの内に住まわれる聖霊によって守りなさい」
(テモテへの手紙二 1章14節)

八幡小隊から今年も引き続き、ニュースレターをお届けいたします。

2月1日号の救世軍公報『ときのこえ』の証しのページに、筒井恵子さんの証しが掲載されました。筒井さんは、現在は広島市にお住まいですが、出身はこの北九州市です。結婚され、ご主人の転勤で広島に移られました。筒井恵子さんの父親は吉村巽さん、母親は兼子さん、そのご長女です。そして、祖父は吉村勘蔵さんです。八幡小隊を知る人で、吉村勘蔵さんを知らないと言ったら、本当の意味で八幡の救世軍のことを知らない！と言ってもよいほど、吉村勘蔵会計はこの地では名の知られた方でした。満州からの引揚者でもある吉村さん一家は、戦後、戦地から引き揚げてくる人々のために先頭に立って尽力されたことが、この地の歴史にしろされています。おそらく、吉村勘蔵さんは、戦前、息子夫婦が満州にいる時、嫁が病気になる、帰国した幼い孫が、また満州に帰り、そして戦争が終わり、息子家族が帰国するその日(昭和22年)を首を長くして待ち続けたと思います。ですから、同じ経験をしている引揚者家族を見捨てることができず、帰国者受け入れのために尽力されたのでしょう。

筒井さんの父親の吉村巽さんは、現在の八幡西区にあるミッションスクール折尾愛真学園に長年お勤めになりました。毎年、八幡小隊の小隊士官が、学園で行われる11月の伝道集会に招かれて、卒業を前にした高校3年生のクラスに入り聖書のお話しをします。そのことは、吉村巽さんが長年、折尾愛真でお勤めされ、良い感化を残されたことの賜物と思います。感謝です。

さて、八幡小隊の信仰の基礎を築かれた吉村ファミリーの紹介をさせていただきましたが、今年の救世軍標語は、「信仰の遺産の上に築く」、テーマ聖句は、冒頭に書いた聖句です。キリスト信仰を経験した人はだれでも、二つの誕生日をもっています。最初の誕生日は、自分の母親から生まれた日です。二番目の誕生日は、イエス・キリストが言われた「だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない」と言われた、第二の誕生のことです。この誕生のことを知らない人がいます。このことは、聖書が私たちに教えているものです。しかも、教えられなければわかりません。

今年の標語聖句にある、「聖霊によって守りなさい」とは、イエス・キリストを信じた時に与えられた聖霊を、守りなさい、という意味ですが、この二度目の誕生をせっかく経験したのに、人は、キリスト様から目を離してしまったら、自分が霊の命をいただいていることを忘れてしまうのです。忘れてしまう前に、悪魔(サタン=この世につける思いが強くなる)が、世の心遣いや、思い煩いを与えて、まず、小隊から遠ざけ、最終的にはキリストからも離されてしまうのです。その結果は、老後の不安や、死に対する恐れとなります。「神に会う備えせよ」が警告の言葉であり、「神と和解しなさい」は、解決の道です。人は生まれる時から、神と共に生きるように召されているのです。今年もキリストと共に、幸いな年を過ごされますように！

寒い季節はまだしばらく続きそうです。心身ともに守られて、過ごされますように、豊かな御祝福をお祈りしています。

■ユーチューブ配信のご案内 小隊で聖別会のメッセージは、YouTubeの検索、**救世軍八幡** でいつでも視聴できます。

発行 2025年2月



福岡県北九州市八幡東区
昭和2-4-5

TEL (093) 652-1584

FAX (093) 482-5077

E-mail: yahata@jap.

salvationarmy.org

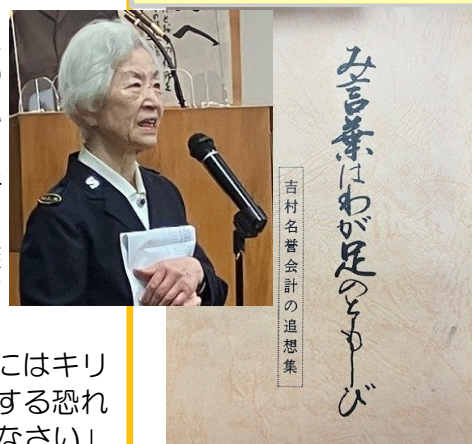
小隊士官 樋口和光

小隊士官 樋口愛子

樋口少佐 携帯電話番号

070-1390-5365

2025年救世軍標語
「信仰の遺産の上に築く」
(テモテへの手紙二 1章14節)



召天者記念会で証しする筒井恵子さん
吉村会計の追想集

■八幡小隊 聖別会(礼拝)のご案内

毎週日曜日10:30a.m.

毎週の聖別会は同時刻から始め、1時間ほどの礼拝です。ぜひ、お出かけください。